

THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. 634 Aug 2011

Special Issue: Basic Income

- Fascination and Perplexity of Basic Income NARUSE Tatsuo
 The Theory and Practice of Basic Income in Japan's Social
 Policy TAKEGAWA Shogo
 Necessity of the East Japan Earthquake and Income Security
 YAMAMORI Toru
 Basic Income by Way of Radicalism SHINKAWA Toshimitsu

Oral History: Social Movement in Japan

- The Formation of Zennikka (All Japan Chemical Workers
 Union) and the Movement of Sanbetsukaigi, an Interview
 with Togo Kameda (1) YOSHIDA Kenji

Book Reviews

- SHIMIZU Koichi, *The Political Economy of Working Hours:
 Work-sharing in France* HAMAGUCHI Keiichiro
 KAWAI Katsuyoshi, *The Social Isolation of the Single Dwelling
 Elderly in Japan's Major Cities* Deng Jun
 TAKEDA Yu, *The World of the American Workers:
 Where Labor History Meets Urban History* MINAMI Shuhei

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

- Ohara Institute for Social Research

Monthly Research Meeting

OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342 Aihara, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr.org>

e-mail : oharains@s-adm.hosei.ac.jp

編集(兼)発行人
法政大学大原社会問題研究所
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042 (783) 2305~7

定価1,000円(本体952円)
年間購読 12,000円(税込)

大原社会問題研究所雑誌

六三四号 【特集】ベーシック・インカム

二〇一一年八月

1958年2月10日第三種郵便物認可 2011年7月25日(毎月1回25日)発行

ISSN 0912-9421

大原社会問題研究所雑誌

634 2011.8

【特集】ベーシック・インカム

- ベーシック・インカムの魅惑と当惑 成瀬龍夫 1
 ベーシック・インカムの理論と実践 武川正吾 16
 東日本大震災と所得保障の必要性 山森 亮 29
 ベーシック・インカムというラディカリズム 新川敏光 45

■証言：日本の社会運動

- 全日化の結成と産別会議の運動
 ——亀田東伍氏に聞く(上) 吉田健二 58

■書評と紹介

- 清水耕一著『労働時間の政治経済学』 濱口桂一郎 70
 河合克義著
 『大都市のひとり暮らし高齢者と社会的孤立』 鄧 俊 74
 竹田有著『アメリカ労働民衆の世界』 南 修平 78

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所 82

月例研究会

所 報 2011年4月

発行/法政大学大原社会問題研究所

発売所/法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-7

法政大学一口坂別館内 TEL 03 (5214) 5540

郵便振替口座 00160-6-95814

第24回国際労働問題シンポジウム
持続可能な社会保障をめざして
ILOの戦略と日本の課題

共催 法政大学大原社会問題研究所
 ILO駐日事務所
 後援 日本ILO協議会

国際労働問題シンポジウムは、毎年のILO総会の議題のなかから、日本との関係で興味ある議題を取り上げてきました。今年は、「社会保障」に関する議題をとりあげます。これは、ILOが掲げる四つの戦略目標の一つである「社会的保護」に関する討議で、2008年の総会で採択された「公正なグローバル化のための社会正義に関するILO宣言」に基づくフォローアップ審議です。本シンポジウムでは、ILOの戦略を踏まえ、日本の課題について議論します。本議題を担当したILOの専門家の講演も予定しています。なにとぞ奮ってご参加くださるよう、お待ちしております。

日時 2011年10月6日(木) 午後1時～5時
 会場 法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー (スカイホール)
 (〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1)
 交通 JR:市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩10分
 (ほか地下鉄線あり, 詳しくは
<http://www.hosei.ac.jp/access/ichigaya.html>を参照)

参加費 無料

【プログラム】

2011年のILO総会について.....ILO駐日代表 長谷川真一
 ILO担当者による講演.....(予定)
 政府の立場から.....厚生労働省大臣官房国際課課長補佐 清野 晃平
 労働者の立場から.....日本労働組合総連合会総合政策局長 中島 圭子
 使用者の立場から.....日本経済団体連合会国際協力本部主幹 森田 清隆
 グローバリズムと地域主義の狭間で——日本の役割
東京大学大学院人文社会系研究科教授 武川 正吾
 (司会.....法政大学大原社会問題研究所准教授 榎 一江)

(注) 肩書は2011年7月現在

申込み 下記のどちらかに、ファックスかメールで、9月30日(金)までに「国際労働問題シンポジウム」と明記のうえ所属とお名前、連絡先をお知らせください。

ILO駐日事務所 〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル8階 fax: 03-5467-2700 e-mail: ilo-tokyo@ilotokyo.jp	法政大学大原社会問題研究所 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 fax: 042-783-2311 e-mail: oharains@s-adm.hosei.ac.jp
---	--

※お車でのご来場はご遠慮ください

日本労働研究雑誌

No. 613 2011年8月号 定価 895円 年間購読 10,740円

特集: 「個別労働紛争の背景と解決システム」

提言	個別労働紛争とは何か	野田 進
論文	個別労働紛争解決の経済学	石田潤一郎
	個別労働紛争における労働組合の役割	久本憲夫
紹介	個別労働紛争解決促進制度に見る労使紛争の一断面 ——都道府県労働局におけるあっせん事案を中心に	細川 良
	個別労働紛争と人事管理・労働組合 ——都道府県労働局におけるあっせん事案に基づく分析	鈴木 誠
論文	わが国の個別労働紛争調整システムの課題——イギリスとの比較を中心に	野瀬正治
書評	前田信彦著『仕事と生活』ミネルヴァ書房 2010年12月	多賀 太
	菅山真次著『「就社」社会の誕生』名古屋大学出版会 2011年1月	大湾秀雄
論文 Today	「イギリス労働法における連関 (Nexus) 概念の展開」	新屋敷恵美子
フィールド・アイ	食と安全と職業の教育	櫻庭涼子

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23
 ☎ 03-5903-6255



●特集/働く障がい者を支える——障がい者就労支援の現状と課題
 ◆巻頭言<俯瞰>障害者就労支援の展望—視覚障害者を中心に 工藤正一 ◆障害者雇用の現状と雇用支援策 秦 政 ◆特例子会社による障がい者雇用の創出 佐藤 悟 ◆障がい者就労支援におけるジョブコーチの役割 小川 浩 ◆OKIワークウェルにおける在宅勤務障がい者の就労支援 木村良二 ◆自治体職員として働いて——視覚障がい者の経験から 伊藤慶昭

- ◆足尾銅山の光と影・3 足尾銅山の労働と技術.....小野崎敏
- ◆職場のいじめ・暴力・ハラスメント防止対策・9 職場のいじめ・ハラスメント調査票の作成と活用.....津野香奈美
- ◆産業安全保健エキスパート—職場の実践・5 はさまれ・巻き込まれ災害ゼロをめざして.....坂本秀人
- ◆メーカーとつないで・8 オフィス空間の快適さと調和をはかる事務用チェアの開発.....八木佳子

2011. Sep.
 第66巻第9号

定価1,100円・年間予約12,000円
 送料84円

(財)労働科学研究所出版部 (労研出版)
 〒216-8501 神奈川県川崎市宮前区菅生2-8-14 電話 044 (977) 2121 (代) 振替 00100-8-131861